

特別展 北京故宮博物院200選

2012年1月2日(月・休)～2月19日(日)
東京国立博物館 平成館 (上野公園)

中国の北京にある故宮博物院は、かつて中国の皇帝が代々住んでいた、「紫禁城」という宮殿を博物館にしたものです。ここには、中国の歴史上大切な宝物がたくさん展示されています。180万件以上の作品があり、たいへん大きな博物館です。皇帝が生活し、そして国をおさめていたこの紫禁城には、中国の美しいものがたくさんつまっています。その一部を、この展覧会で日本にもご紹介します。

休館日：月曜日(ただし1月2日(月・休)、9日(月・祝)開館、10日(火)は休館)

開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

主催：東京国立博物館、故宮博物院、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション

特別協力：毎日新聞社 後援：外務省、中国大使館

協賛：三井物産、凸版印刷、あいおいニッセイ同和損害保険、華為技術日本(ファーウェイ・ジャパン)

協力：全日本空輸、東京中国文化センター

観覧料

一般 1,500円(1,300円 / 1,200円)

大学生 1,200円(1,000円 / 900円)

高校生 900円(700円 / 600円)

中学生以下無料

※()内は(前売/団体)各料金 ※団体料金は20名以上

※障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳をご提示ください。

前売券は1月1日(日・祝)まで販売

博物館でのルール

●ゆっくり歩いて静かに見よう

●作品にインクがつかないようにメモはえんぴつで

●作品にはさわらず目で楽しもう

展覧会公式ホームページ <http://www.kokyu200.jp/>

東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp>



NHK

特別展「北京故宮博物院200選」ジュニアガイド 制作：東京国立博物館、NHK デザイン：SMITH

トーハクにはほかにも龍がいっぱい！

本館

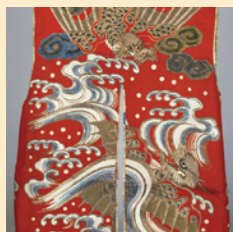
博物館に初もうで・開館140周年記念特集陳列 「天翔ける龍」 (～1月29日(日))



自在置物 龍

(2階 特別1室) 江戸時代・正徳3年(1713)

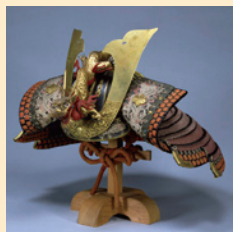
金属でできたたくさんのパーツを組み合わせ、
からだがか自由に動く「自在置物」の龍。



陣羽織 猩々緋羅紗地応龍波濤模様

(2階 特別1室) 江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈

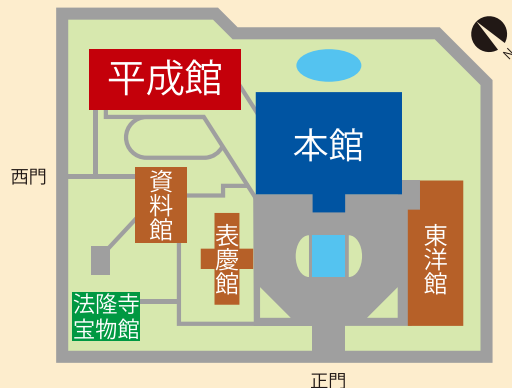
翼のある「応龍」が波の上を飛んでいます。
戦いにいどむための、力強いデザイン。



紫裾濃威筋兜

(2階 特別1室) 江戸時代・18世紀 松平直亮氏寄贈

龍は強さのシンボルで、武士に好まれました。
龍の顔、すごい迫力！



法隆寺宝物館



国宝 龍首水瓶

(2階 5室) 飛鳥時代・7世紀

水を入れる容器。龍の口がぱかっとあきます。
細いとしてはなんと龍のからだ！